

玉宮公民館だより

【発行責任者】 玉宮公民館長：廣瀬 文武 主事：廣瀬 政道



令和5年1月15日玉宮公民館にて、恒例の1月 俳句教室が、【廣瀬 博】氏講師のもと実施されました。

今年度第4回目の教室で、今月は『短日』・『冬眠』・『福寿草』を兼題に、暮れゆく情景を【俳句】に描写していただきました。会員の方々が「令和4年の玉宮地区や海外の情景体験・過疎地状況」など、俳句に込めた意を、ご披露していただきました。

今年度第5回目は、令和5年2月11日（土）午後1時30分からです。兼題は【探梅】・【如月】・【鳥雲に入る】です。会員の方々が、新年に【何を意、何を詠む】のか、絶妙な情景描写・玉宮地区への意を『俳句』で感じるのが楽しみです。

皆さんも『俳句教室』で直に感じてみませんか。会員以外の方々の参加も大歓迎です。問い合わせは、館長・主事までご連絡ください。

令和4年12月11日【12月 俳句教室】での【句】を、会員の方々のご協力により、同時掲載させていただきました。兼題は『枯野』・『湯豆腐』・『綿虫』です。

本年もよろしくお申し込み申し上げます。

今後の玉宮公民館活動予定につきましては、【玉宮公民館だより】・【玉宮公民館だより号外】にて、地区の皆様方に、ご案内申し上げます。

館長：廣瀬 文武
主事：廣瀬 政道



甲州市玉宮公民館俳句教室（令和五年一月十五日）

兼題 『短日』・『冬眠』・『福寿草』

- 奥山武夫
- ・ 短日やカウベルの音牛舎へと
 - ・ 福寿草友の亡き妻麗しく
- 登秀雄
- ・ 短日や富士の東陵雲吹きて
 - ・ 暮早し夕日せつせつ峡の里
- 沢登代六
- ・ 表より妻の呼ぶ声福寿草
 - ・ 暮易し墓に造花の揺るるのみ
- 中村勝久
- ・ 福寿草従兄とここに立ちしこと
 - ・ 冬眠の蛙おこして山の風
- 中村孝栄
- ・ 笑顔して光の中に福寿草
 - ・ 冬眠や子らの世話する亀二匹
- 樋口重和
- ・ 玄関に蕊の充ちたる福寿草
 - ・ 短日や村のコンビニキャッシュレス
- 廣瀬 博
- ・ 冬眠の杜に風音ばかりなり
 - ・ 暮早し岸辺に風の音残り
- 向山泰三
- ・ 冬眠や絡みて蛇は一穴に
 - ・ 福寿草首なし地藏の足下に
- 廣瀬文武
- ・ かえるへび冬眠の森いつまでも
 - ・ 暮早し音の響かぬ剪定ばさみ
- 廣瀬政道
- ・ 冬眠や体内時計の音するよ
 - ・ 福寿草旭を待ちてゐたりけり

甲州市玉宮公民館俳句教室（令和四年十二月十一日）

兼題 『枯野』・『湯豆腐』・『綿虫』

奥山武夫

- ・ 湯豆腐や辛口の酒酌^くみ交わす
- ・ 頂^{モンブランにて}に立ちて麓の大枯野

澤登秀雄

- ・ 夕映えて一朵^{いちもだ}の雲や枯野道
- ・ 枯野かな剣舞習いし幼き日

沢登代六

- ・ 雪ばんば幼き子らの声走る
- ・ ひたひたとひとり枯野の夕日中

中村勝久

- ・ 湯豆腐や遺影の母に語りかけ
- ・ 綿虫や黄昏時の舞踏会

中村孝栄

- ・ 湯豆腐や母の隣りに居るような
- ・ 綿虫の空にふわりと紛れけり

樋口重和

- ・ 綿虫のふわり手のひら^{かわ}躲しけり
- ・ 遊びたる子のみな去りて枯野かな

廣瀬 博

- ・ 鬼ごとの子のこゑ去りて雪ぼたる
- ・ 夕日さす馬頭観音枯野かな

向山泰三

- ・ 湯豆腐や昆布椎茸香りくる
- ・ 綿虫や夕日に風に^{あしが}抗わず

廣瀬文武

- ・ 綿虫の舞えば行く方^{ゆかたおも}想いけり
- ・ 外は雪湯豆腐困む顔と顔

廣瀬政道

- ・ 業^{わざ}終えて湯豆腐の呼ぶ夕べかな
- ・ 綿虫や山並に雲被^{かぶ}さりて

玉宮の自然マップで
新緑の季節を散策して
観てはいかがでしょうか！



玉宮公民館
入口左側に
有ります。

玉宮の自然が、
たくさん紹介
されています。



座禅草の季節です。